

1 文献名
『高茶屋小学校創立百周年記念誌 高茶屋の歩み』
2 学校名
高茶屋小学校
3 災害名
昭和 28 年（1953 年）台風第 13 号
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
9 月 25 日、正午ごろから風雨が強まり、午後 5 時ごろから 9 時ごろにかけて最も強くなった。（P189）
（2）学校内や地域の被害の状況
満潮と重なって、午後 7 時ごろ、海岸、相川・天神川の堤防が 11 か所にわたって決壊し、田畑の冠水や住家浸水の被害が出た。 現在の紀勢線の東側は一面水びたしとなり、すでに新設されていた国道 23 号線は不通となって、約 1 か月にわたって旧街道が代わって使われたので、その間の混乱はすさまじかった。（P189～190）
（被害の状況）
家屋全壊 4 戸、家屋半壊 2 戸、床上浸水 95 戸、床下浸水 75 戸、堤防決壊 11 か所（延長 280 メートル）、堤防半壊 2 か所（延長 360 メートル）、田畑冠水 1,300 反、稲倒伏 560 反、橋梁流失 1 か所、道路決壊 3 か所（50 メートル）
（3）復旧の様子
復旧工事はただちに着手され、相川上流、天神川の 6 か所の決壊箇所は地元民約 300 人も参加した。（P191）
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他